

No.	15-6-5	場所	高森町下市田 竜西一貫水路	次世代への継承キーワード	情報伝達網整備	
名称	竜西一貫水路の水路橋に流木がたまり、南大島川がせき上げられ氾濫			河川	南大島川	
災害現象	流木被害			支流		
補足事項						

概要

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約 500mにわたる惣兵衛堤防は、200 年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11 名の犠牲者を出した。

●竜西一貫水路：

竜西一貫水路ということは、竜西上段の農民にとっては「期待の星」であった。私ども高森町では多大な恩恵を受けている。殊に下段地域の下市田では、昔の水不足は一挙に解決し、山沢の水は、上水道の水に利用され、下市田河原の水利まで一切賄うことができるようになり、有難い極みといえる。（「語り継ぐ先人の偉業」より）

●体験談：上沼ふみ

春蚕も終りやれやれと思った。

でもいやに雨は物凄い音をたてて降り続く。何となく心配になる。ラジオに耳をかたむけると各地に被害が出ているようである。

わたしは人の事の様な気がしていた。有線が当地も被害が出ているじっとしてはいられなく外に出ると道路は一面川となりこれは大変と思いジョレンを手に一貫水路が危いと言う声をきき必死で水をふせぐ。

わたしはなぜか家が心配になり家にいそぐ、家に着くと早や「ぶきみな音これはと思い」時間四時半頃私は余りの出来事声もでなかった。見るまに家の垣根を破り水が入ってくるあの時の惨怛たる出来事は私達の心からはなれません。（「災害の市田郷」より）

記録



竜西一貫水路の水路橋が流木でせがり氾濫して住宅を押し流した。写真右側の石積が川の護岸、現在はサイフォンで川の下を通っている。

出典 「36 災害 20 周年記念 災害の記録」p.17/「語り継ぐ先人の偉業」 p.40/「災害の市田郷」 p.69

備考

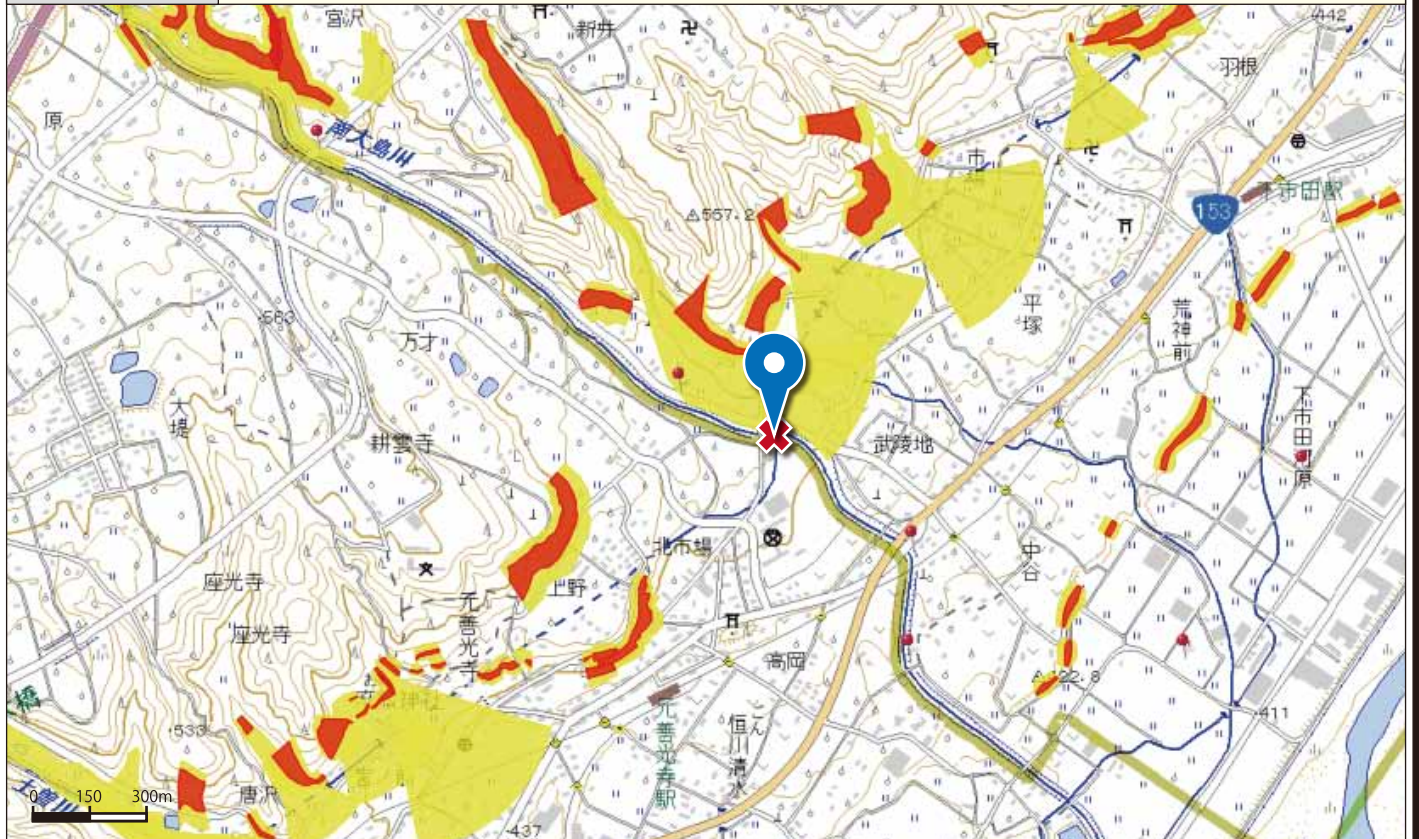
No.	15-6-5	場所	高森町下市田 竜西一貫水路	緯度	35.539263
-----	--------	----	---------------	----	-----------

名称	竜西一貫水路の水路橋に流木がたまり、南大島川がせき上げられ氾濫			経度	137.864310
----	---------------------------------	--	--	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。